



地域とつながり高める防災力

校長 谷 浩 明

寒い日が続き、こんな時は「暖かい南の国は良いなあ」と思ってしまいます。でも、冬は畑を休ませて土を豊かにし、降り積もった雪は春の田畑を潤します。沿岸育ちの私は、年末になると欠かさず、遠い海から川へ集まってきた鮭を塩引きして、乾いた寒風で干す新巻き鮭作りをしますが、これも常夏の国ではできません。自然は、厳しさの一方で豊かさをもたらしてくれます。日本は、世界でも有数の美しい自然に恵まれた国で、その中でも、特に私たちが住んでいる一関地区は、黄金色に輝く稲穂が広がる光景が象徴する自然豊かで美しい場所です。

私たちは、自然の厳しさを受け止めながら、生活を工夫してきましたが、自然が突然牙をむき大災害が発生することも、少なくありません。一関地区でも、繰り返し被ってきた水害、14年前の岩手宮城内陸地震、12年前の東日本大震災などを教訓にして、地域や未来を担う児童生徒の防災力を高める取り組みが進められてきました。

本校では今年度から学校運営協議会（コミュニティースクール）がスタートし、日頃より学校を支えてくださっている委員の皆様と、地域と連携して学校の教育力を高め、地域づくりに貢献する目的で、意見交換や協議を進めてきました。その中で、広域から児童生徒が集まる本校では、地震等大規模災害などにより、児童生徒が家に帰ることができなくなった際に、一時的な避難所として学校で過ごすことへの方法や手順の知識や経験値が少ないことが課題としてあげられました。また、在校生以外にも、地域の避難所で過ごすことが難しい方の避難所として活用いただくことで地域に貢献できることなども出され、本校を福祉避難所として地域で役立てていただくことが検討されました。これは福祉避難所として登録されることが目的ではなく、福祉避難所として準備し、整える過程を通じて、地域の方々を含めた関係機関と連携し、防災学習や体験的活動を一体的に進め、児童生徒の防災対応力を高めることを目指しています。在学中に、災害に遭い学校で夜を過ごすということは起こらないかもしれませんが、将来、就職先で、あるいは通勤途上の駅で、あるいは地域で一時的にせよ避難生活をするということは、災害の多い日本では、いつかは一人一人に起こり得ることです。

現在、福祉避難所の指定に向けて、どのような準備、調整が必要であるか、一関市とも協議中です。できること、できないことも整理しながら、できることから少しずつ整えていくことを目指します。学校や地域の防災力を高め、児童生徒が身を守るための知識、技能、表現力、主体的行動力を身につけて本校を巣立つことができるように、学校運営協議会をはじめ地域の力をお借りし、共に防災力を高めてまいります。

第3回学校運営協議会

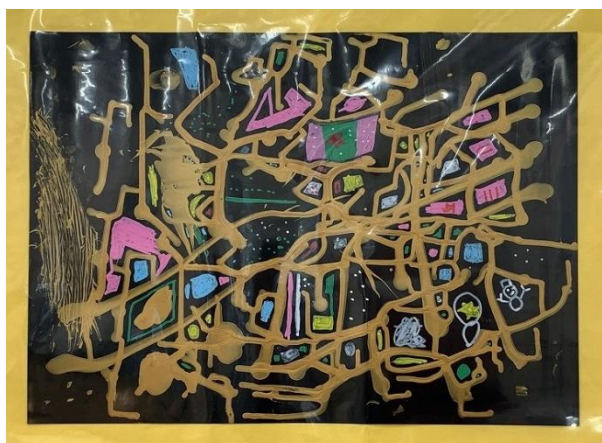
令和5年2月7日(火)、第3回学校運営協議会が本校舎図書館を会場に開催されました。今年度から開始した「学校運営協議会(コミュニティスクール)」では、『安心・安全な地域や学校を目指そう～安全教育を地域の方々と共に考え備える～』というテーマで協議が行われ、本校在校生や卒業生が、大規模災害等で非難を余儀なくされた場合の避難場所として学校を活用できるよう、少しずつ協議を重ね準備をしているところです。令和5年度には、学校運営協議委員の方々やボランティアスタッフの方々と交え、福祉避難所として、教職員向けの避難訓練を行うこと予定です。また、今回は11月25日から12月9日にかけて行われた「学校評価アンケート」の調査結果についてもお知らせいたしました。保護者の皆様におかれましては、調査へご協力頂き、誠にありがとうございました。学校ホームページにその結果を掲載しておりますので、ぜひご一読をお願いいたします。【学校HP用QRコード】

☆学校ホームページ☆ <http://www2.iwate-ed.jp/ich-r/>



表彰関係のお知らせ

第29回全国特別支援学校文化祭に写真部門に出展した本校舎高等部1年 鎌田一希さんの作品「静まりし羽」が、「全国特別支援学校病弱教育校長会賞」を受賞しました。作品は、令和4年度第29回全国特別支援学校文化祭記録集に掲載されるとともに、りそな東京本社に展示されるそうです。おめでとうございます！



また、第15回“夢・未来”子ども文化祭(NPO 法人一関文化会議所主催)の展示部門「絵画の部」におきまして、千厩分教室小学部4年



角谷 優咲さんの作品「なつよりの花火」が金賞を受賞しました。おめでとうございます！

【訃報】

山目校舎中学部3年、飯高結斗さんにおかれまして、2月12日(日)呼吸不全により急逝されましたことをここに報告いたします。在りし日のお姿を偲びつつ、心よりご冥福をお祈りいたします。